

呼吸リハビリ機器「LIC トレーナー®」のご紹介

LIC トレーナーは国立精神・神経医療研究センター（東京都小平市）とカーターテクノロジーズ株式会社（埼玉県川口市）が共同開発した ALSをはじめとする神経筋疾患患者さん向けの呼吸リハビリ機器です。

LIC TRAINER ついに登場



ALS の患者さんの生命予後には、呼吸や咳嗽（がいそう・咳のことをいう）に必要な筋力低下によって引き起こされる呼吸障害が大きく関係します。病状が進行すれば肺活量が低下し、結果として胸郭や肺の柔軟性も損なわれ、呼吸障害が発生します。病状の進行を抑制するために呼吸理学療法としてアンビュバッグを用いた MIC トレーニング（最大強制吸気量：Maximum Insufflation Capacity による咳嗽を保つ息溜めの練習）がありますが、ALS 患者さん特有の球麻痺症状は MIC に必要な咽頭部の機能を喪失しているため、肺の柔軟性を維持することは困難です。また、換気不全の呼吸ケアとして、マスクなどを用いた非侵襲的人工呼吸器や気管切開・侵襲的人工呼吸器を装着することで対応しますが、肺を十分に膨らませることができません。カフアシスト等の排痰機器でも対応は難しいです。

そこで、発症初期より ALS 患者さんの肺を膨らませ、肺や胸郭の柔軟性を維持・改善し、呼吸状態を少しでも良くすることを目的に開発された機器が LIC トレーナーです。通常の徒手による呼吸介助に比べ、LIC トレーナーは直接的に肺に空気を送り込むため、肺や胸郭を広げる効果は大変高いと考えら

れます。

そして LIC トレーナーの最大の特徴は、患者さんの息止めをサポートするための一方向弁が装備されているため球麻痺症状の患者さんでも十分に肺を膨らませることが可能という点です。また、呼気ラインというチューブが付属しているため、患者さんのタイミングで圧力を逃がすことができ、患者さんに優しい設計になっております。更には高い圧力がかかると自動的に圧力が抜ける安全機能も有しております。



LIC トレーナーは発売後 1 年も経過していませんが、北は北海道、南は沖縄という全国各地の患者さんが使い始めております。茨城県においても茨城県立医療大学附属病院では既に導入されておりますし、他の医療機関でも導入に向けた検討が行われています。ぜひ、LIC トレーナーを試してみたいという方がおられましたら、まずは主治医の先生に相談してみてください。導入を検討するために医療機関向けではありますが、1 か月間の無償レンタルサービスも行っておりますので、お気軽にカーターテクノロジーズ株式会社へお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

カーターテクノロジーズ株式会社

TEL.048-483-4810 FAX.048-483-4811

E-mail : info@carter-tech.jp

WEB : <http://carter-tech.jp/>

担当：関根